

広 報 = 203号

なかつえ

人口と世帯

11月末現在
 ()内は前月比
 人口 2,054(-4)
 男 994(-2)
 女 1,060(-2)
 世帯数 578(-2)

■ 発行所・編集発行人・中津江村・斉藤隆一

印刷・日田・朝日堂

1981



謹賀新年

1981 1月号

<1月>

- 1日 元旦
- 5日 官公庁御用始め
成人式
- 8日 消防団出初式

11日 鏡開き

- 15日 成人の日
第3回新春走ろう・
歩こうカイ!
- 20日 大寒

26日 文化財防火デー

<2月>

- 1日 成人病予防週間
- 3日 節分
- 11 建国記念日

謹賀新年

あけましておめでとうございます



活力ある村づくり 個性ある村づくり 魅力ある村づくり

村長 斉藤隆一



昭和五十六年初頭にあたり、激動の年であった一九八〇年を乗り切り新春を迎え得ることができたことを村民のみな様とともにご祝詞を申し上げたいと思います。

昨年はイランの米大使館員人質事件、ソ連のアフガニスタン侵略、イラン・イラク戦争、カンボジア問題等々、世界動乱の前兆と思われる事件が世界の各地で次々に発生しました。今や米ソの対立を軸にして緊張

緩和から一挙に対決時代に突入し、かつ、アメリカレীগン政権の誕生は対ソ強行路線が予想され、軍備増強は一段と激しくなりそうです。極東情勢も日本に対する潜在的脅威は増大の一途をたどりアメリカの要請を待つまでもなく、日本も自衛力増強のためその量質の充実につとめ、有形無形の力を結集しなければならぬと思います。また国際経済外交面では日本の経済進出による各国との貿易摩擦が激しく、対米対西欧の貿易調整の必要に迫られています。日米関係を基調にして日中関係を緊密にし対ソ対西欧関係を良好に維持し、日本は政治、外交経済面でリーダーシップを取り、世界の平和と安定のため貢献しなければならぬと思います。

国内政治面では昨年の衆参両院の同時選挙の結果鈴木木安定政権が確立され、野党の連合政権構想の夢は破れました。しかし不況の波は国民生活を脅かしつつあり、かつ、昨年末オペックで決定された原油の値上げは直接間接に国際収支、国民経済に及ぼす影響は甚大なるものがあると思います。国家財政も破綻の危機に直面し、この立て直しのため税制改正(増税)、行政改革等各種施策が強力に講ぜられつつあります。したがって、これに関連して地方財政も窮乏しつつあり、住民の福祉も逐次低下せざるを得ない現状になりつつあります。

本村は先に基本構想、基本計画を策定し、さらに具体的に村づくり計画をたてて昭和六十年を目標に本年から本格的に村づくりに取り組みむことといたしており

ますが、諸般の情勢から容易ならざるものがあると思います。あくまでも農林業の振興を第一義とし、これに教育振興、生活環境整備をあわせおこなうこと等を重点施策として、活力ある村づくり、個性ある村づくりを目標にしてまい進する所存であります。

農林業では特産品振興を主体とし、特にシイタケ、ワサビ、キュウリ、コンニャク等の増産と産地化を図り、これら産品等の組み合わせによる複合経営を確立し、さらに特産品開発のための仲間づくり運動をさかんにして、知事の提唱する一村一品運動の主旨を尊重しながら村民の所得の増大と定住を図らなければならないと思います。

また、全村的に農林業の振興を策することが基本ですが、それと同時に地域的にその特色を生かした開発をおこなう、各地域の浮上を図ることが極めて重要であると思います。そのため野田、栃原、川辺等ダム周辺地域の整備及び鯛生金山

跡地整備、野田農免農道の新設ならびに吉原、猪野々堆積場の整備、スーパー林道(石場地区)の事業推進等について一段と力を入れたいと思います。

教育面で特筆すべきことは、いよいよ本年から中津江中学校跡地に大分大学のへき地教育センターの建設事業が始まりますので、へき地の小規模、少人数校の教育振興と地域発展のため大きな期待と夢が持たれるわけです。日田市に郡立で建設中の高校寄宿舎も三月末までに完成し、四月から入寮できる予定です。ので来年の県立高校進学者及び現在在校中の高校生はぜひ入寮していただきたいと思っています。なお、管理運営については寮費をできるだけ安くし、舎監の人選及び寮生の生活指導、学習指導に特に留意し万全を期したいと思っています。

道路の改良整備については県道、村(林)道ともに着々進展中ですが、特に本年は永年の念願が実って県道八女―小国(大分―大川)線の国道昇格が実現する見

込みで一大朗報だと思えます。昭和五十七年頃を目標に国道、県道、村(林)道、スーパー林道の改良、新設が完成したあかつきには中津江村は産業交通、観光面で九州管内において重要な地理的位置を占めることになり、今後飛躍的な発展が期待されると思います。

みんなであつくり

議長 鷹野 勉



あけましておめでとございます。輝かしい昭和五十六年の年頭にあたり平和で良き年であることをまず祈念するものであります。

昨年をかえりみずとあらゆる面できびしく激動の年でした。国内においては衆参両院のダブル選挙にはじまり、長雨と冷夏に影響された米作など農産物の不

生活環境整備の面で特にダム周辺の環境整備は下笠松原ダム再開発事業により竜門ダム分水事業と並行し本年度から本格化する予定で泉源の開発等も含んで努力したいと思えます。

作、農産物の不作による経済的不安など。また、わが村においても長雨と日照不足による農作物の不作は、農家はもとより住民全体の経済的不安を招く結果となりました。村議会といたしましては長雨による災害復旧対策をはじめ、村が計画推進する重要案件に対し全会一致をもって鋭意努力してまいりました。とくに農林業振興対策、道路の改良整備、金山跡地の整備及び公害対策事業、社会福祉の充実等には積極的にこれを推進し、教育の充実については慎重にこれを検討し鯛生小学校の改築をすすめてまいりました。

五十六年度から開始される予定で、農業振興の観点から強力に推進したいと存じます。

そのほか、林業集落基盤総合整備事業に基づく連絡道及び林道の開設、県営祝川過疎代行林道の継続事業、川辺の簡易水道事業等、村づくりのため重要施策が山

積みしていますが、これらに全力を投入して取り組み所存であります。

しかしながら前述のごとく経済不況の打続く状況下で、しかも地方財政がきわめて厳しい折から村政諸施策の遂行には幾多の困難が予想されますので住民各位の絶大なるご協力とご指導

をお願いいたしたいと存じます。

村ぐるみ青少年健全育成を

教育長 佐藤誠一郎



現在日本だけでなく世界中が非行化の傾向にあります。その中でも日本の青少年の非行は、まさに雪だるま式に加速度が増し巨大化しつつあります。

日本では年間二万人の自殺があり、その中に小中学生の自殺が著しくふえてきました。また小学一年の男の子が幼女にいたずらをし

表 A 上・中・前津江の状況

		総人口	総世帯数
中津江村	50年国調	2,140	614
	55年国調	1,805	570
	減少率	15.7%	7.2%
前津江村	50年国調	2,164	485
	55年国調	2,001	462
	減少率	7.5%	4.7%
上津江村	50年国調	1,768	474
	55年国調	1,560	448
	減少率	11.8%	5.5%

表 B 校区別人口及び世帯数

()内は50年国勢調査数

校区名	野田	川辺	丸蔵	鯛生	
世帯数	68 (64)	207 (209)	144 (151)	151 (190)	
人	総数	261 (257)	674 (760)	472 (569)	398 (554)
	男	123 (126)	324 (364)	220 (266)	178 (250)
口	女	138 (131)	350 (396)	252 (303)	220 (304)
世帯増減率	% 6.3	% -1.0	% -4.6	% -20.5	
人口増減率	% 1.6	% -11.3	% -17.0	% -28.2	

て、そのつげ口をふさぐために井戸にほうりこむという殺人事件や、りっぱな家庭の息子が両親をバットでなぐり殺すなど、あまりにも衝動的な事件が毎日のように新聞をにぎわしております。

日田市内でも、次々と小中高の児童生徒の非行が發生しております。私どもの村にはまだ事件として挙げられたものはありませんが、高校生が日田市でおこした事件はいくつかあるようです。私どもの村には、問題がおこっていないから大丈夫というわけにはまいりません。

非行は表面にあらわれないうちに潜在しているものがあり、それがいつ爆発してあらわれてくるかわからないというのが現実であります。アメリカの深層心理学者キヤノン

「人間心理を南極海の氷山にたとえれば、表面の部分と海面下の部分は一対百であり海面下にかくれている部分が多い。海面上のものを顕在心理、海面下を潜在心理という。人間の内奥で潜在している部分を忘れた教育は教育ではない。しかも顕在心理を刺激すれば、それが百倍となって潜在心理に影響するのである。」

と申しています。一言励ましを与えれば百ぺん励まされたと同じことになって深層心理に影響するのです。ここにも教育の秘密がありそうです。

いまや、私どもは非行を対岸の火事と思っではなりません。いまあらわれてないからと安心するわけにもいきません。非行がおきてからあわててはなりません。また非行を防ぐ手段だけ考えてもだめであります。

いまこそ、教育の本質原点にかえて考えなおさねばなりません。家庭が悪い、親が悪いと言っているような時ではありません。親も

教師も地域の人々も一体となって考えぬき、実践しなければなりません。

青少年問題協議会を充実強化して生徒指導の徹底をはかり、家庭で、学校で、地域で、やらねばならぬことは何か、協力しあわねばならぬことは何かを充分考えるべき時だと思えます。

子どもにはたらふく食わせ、働かさず甘えさせていたら前記のような子どもをつくることは火を見るより明らかであります。物が豊かになって欲望のままに生きるような人間がふえたことが非行の最大原因なので

「たくましく、そして豊かな思いやりにみちた人間」をめざして、家庭も学校も社会も手を携えて、子どもも大人も若いも若きも、すべての方々が積極的に実践活動に精出することが肝要と存じます。

「子どもをよくしよう。」から「私たち大人の姿勢を正し積極的に村づくり立ちあがろう。」との発想の転換が必要だと反省いたします。

年頭にあたり心を新たに、して、このことを私の問題、私たちの重大なこととして出発いたしましょう。

国勢調査人口

1,805人

昭和五十五年十月一日現在で行なわれた国勢調査の集計がまとまり、本村の人口一、八〇五人、世帯数五七〇世帯という結果になりました。

他町村に大きく変動し、減少する一方だった人口が、今後どのようになるのか。またそれに伴って起こるいろいろな変化を推計するための貴重な資料、あるいは目安となる今回の国勢調査ですが、本村の場合前回の五十年のそれと比較すると、総人口は二、一四〇から三三五人減少して一、八〇五人に、そのうち男性は一六一人減少し八四五人、女性は一七四人減少して九六〇人に、世帯数では六一四世帯から、四十四世帯減少して五七〇世帯となり、非常にきびしい現象

となつてあらわれました。県全体の人口三・二%増加に相反して、本村の人口は四十五年、五十年、そして今回と、いずれも県下一番の減少率となつてしまいました。上、前津江村と比較してみた場合、表Aのとおりとなります。上津江村は、本村と同じ状況におかれているようですが、前津江村は一世帯当りの世帯員が多く、本村、上津江村とは多少の違いがあるようです。このようなことから、本村は多くの問題点を含んでいることを示しています。

村民一体となり……

世帯数はそれほど大きくは減少していませんものの、人口は高い減少を示しています。このことは、一人、あるいは二人世帯などが多く、また老人世帯がますます増えている傾向にあると思われれます。さらに、生産年齢人口の減少、それによる出生率の低下とともに、ますます村の将来に重大な

影響を及ぼし、これらの対策に、早急に、真剣に村民一体となって取り組まなければ、本村の将来は、これまでよりもっと暗いものになると思われます。

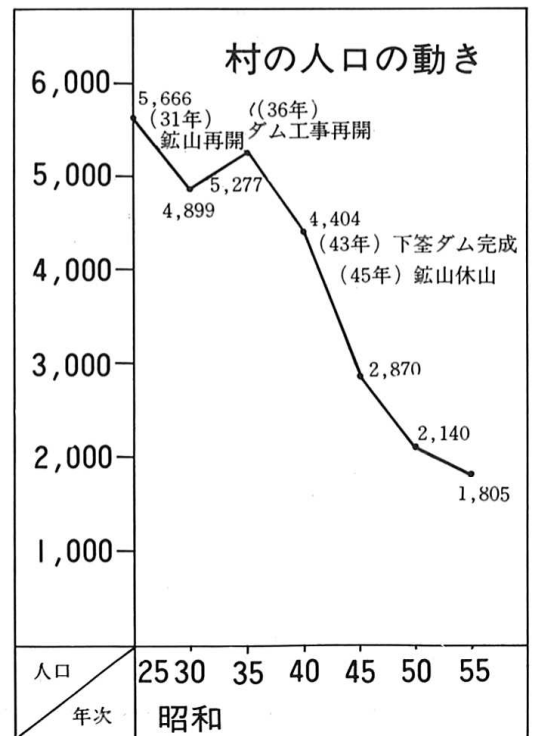


校区別にみると……

校区別にみると表Bのようになっています。やはり鯛生校区の減少が激しいようです。川辺、丸蔵校区も同じく減少はしているものの、その減少率は鈍化しています。ここで特筆されるのは野田校区が、わずかながらも世帯数、人口ともに増加していることです。このことは大変意義あることと思われれます。

ご協力ありがとうございました

今回の調査は、全村を十八調査区にわけて調査をおこなったものですが、各調査員の方には、公私多忙な時期、しかも短期間の調査とあって大変ご苦労をおかけしました。なお、村民の方には調査申告についてご協力いただきましたことを厚くお礼申し上げます。



民生委員が 改選されました

福祉面で村民の相談相手になっている民生委員の任期(3年)が11月30日で切れ、新民生委員が誕生しました。

新委員の氏名、担当区域は表のとおりですが、気軽に相談してください。

民生(児童)委員氏名及び担当区一覧表

任期 55. 12. 1~58. 11. 30

氏名	担当区域
杉野新一郎	梁瀬、小野田、野田、宮田、中村、田の口
安岡セツ子	荒瀬、辛味、打越、栃原1、2、3、二又、小園
梶原美民	川边上、下、引野、八所、原部
高原重俊	田の原、井千原、黒谷、合鶴、平野、鶴田
永瀬幸男	木弓、間地、藤蔵、原1、2、中西1、2
末松義明	山本1、2、丸蔵、梅野、宮園、高迫、石場
高木加幸	作草、堤、簾、平、吉原、中川内
藤川一俊	下切上、下、才野、小平田、鯛生1、2
吉本吉宗	鯛生3、4、5、7、8
森脇 茂	市の瀬1、2、池田、宮原、足風、柿の谷、地藏元

消エネ

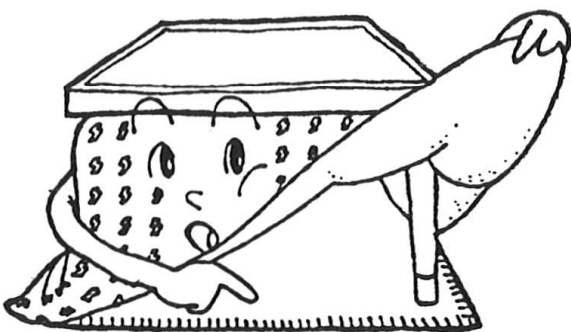
限りある資源を大切に使う
暮らしの提案.....②

※電気コタツ※

コタツの下にマットを敷くと、床面への熱の損失を防ぎ保温効果も良くなります。

たとえば、400ワットのコタツを毎日5時間使用するときマットを敷くと、年間1世帯当り約6キロワット時(約178円)節約になります。

コタツの下にはマットを敷きましょう。



県立高校寄宿舎の入寮について

すでにお知らせしたように県立高校寄宿舎は九月に着工され、三月の完成を目指して工事が着々と進行していますが、現在、寄宿舎の管理、運営について万全な体制をとるため、あらゆる面について関係者の間で検討を進めています。

これまでの寄宿舎がともすると悪の温床になったり、また、現在中・高校生の集団暴力、万引などの非行が増加している折からとくにその運営のあり方が問われていますが、寄宿舎の入寮についてご父兄が心配される

のもこの点ではないかと思えます。今度の高校寄宿舎の運営については教育寮として舎監や寮母などの配置に万全の体制をとるため、入寮や退寮について厳しい規制をとることにしています。また、学校、舎監、父兄、教育委員会、警察署、出身中学校など関係者で十分な連絡、情報交換を緊密にするための機関も設置する予定です。安心して入寮していただきたいと思えます。

- 四人居室一六室、計一〇〇名
- 職員：舎監等三名
- ※ 女子寮
- 場所：日田市丸の内六〇二の二
- 構造：鉄筋コンクリート三階建(ソーラーシステム採用)
- 面積：一階三九四㎡、二階三一七㎡、三階二七五㎡、計九八六㎡
- 収容人員：二人部屋一二室、四人部屋一二室、計七二名
- 職員：舎監等二、三名
- ※ 寮費
- 月二二、〇〇〇円程度

接入室案内書をお届けすること

くわしいことは、ご父兄に直

サル年が去ると次はトリ年。トリ年は、十一支の十番目の「酉」にニワトリをあてはめたものですが、考えてみるとちよつとゆかいなのは、昔「酉の刻」といわれた時刻が、今の午後六時ごろと、その前後約二時間で、どう考えても夜明けを告げるニワトリにはふさわしくないことです。

また「酉の方角」というのは西の方だそうですが、ニワトリという何となく日の出る方向、つまり東の方向が似合うように思えるのですが……。

それはともかく、ニワトリと人間とのつき合いはきわめて古く、インドでは紀元前一七〇〇年ごろにはすでに家畜化され、その後各地に広まったといわれていますが、日本には中国、朝鮮半島を経て伝わり、有名な天の岩戸の神話にニワトリが登場していることはよく知られています。

天照大神(あまてらすおおみかみ)が、岩戸にたてこもつた時、ほかの神がみが困って常世の長鳴鳥を鳴かせたりして、天照大神を岩戸から出



そうとした話がそれです。それにしてもニワトリは、昔は暁を告げる霊鳥として宗教的に用いられたり、また、ヨーロッパやアジア各地では闘鶏として娯楽用に飼われていたことが多く、どちらかというオンドリが主役でした。もちろん肉や卵も食べられていたようですが……。

ところが今では、多くの人にとつて卵が朝食に欠かせないものになり、メンドリ主役の時代になりました。とくに日本では、このところ卵とトリ肉が物価の優等生として歓迎されています。そのわりには、ニワトリは「集団生活」を強いられるようになってしまつて、

今はニワトリの姿を見ることはまれになりました。かといつてニワトリのいる動物園は少ないし、ニワトリの声をテレビやラジオでしか聞いたことのない子どもが増えているようで、ちよつとさみしい気がしますね。ともあれ、よい年でありますように。

のぼせ ほてり

室温をまずチェック



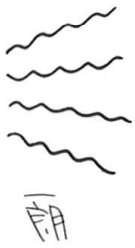
寒い冬、屋内で顔がほてったり、のぼせたりしたら、まず暖房のきき過ぎではないか——室温をチェックしてみましょう。

暖房がきいた狭い部屋に大勢の人が集まり、熱気がこもってくると、上気して頭に血がのぼりくらぐらしたり、ぼおつたりすることがあります。

また、のぼせは、お風呂で長湯し過ぎた時とか、寒いところから暖かい部屋に移り、急に暖まった時などに起こることもあります。

のぼせ・ほてりは、脳貧血つまり頭部の血が足りなくなつて、目まいがし、くらぐらするのとは反対の現象で、脳に循環する血液の量が一時的にふえるために起こるものです。思春期や更年期の婦人、高血圧傾向の壮年・初老の男女によくみられます。

のぼせたら、部屋の空気を入れかえたりして室温を調節し、きれいな空気を吸って酸素を心臓や脳に送りこみます。長湯などでのぼせた場合は、その場で、



少しじいっと静かにしていれば、たいがい治ってしまします。

くらぐらするのは治っても、頬(ほお)の赤味がとれない場合は、両てのひらで、ほったをばたばた叩いたり、軽くマッサージをしたりして、うっ血した血液を散らすようにすれば治ります。

のぼせること自体は、健康上、危険な兆候でも何でもありませんが、動脈硬化や高血圧、心臓病があると危険を伴います。のぼせやすい方は、血圧測定など健康診断を受けておきましょう。

1月15日第3回新春走ろう・歩こうカイ!開催

1月15日、第3回新春走ろう・歩こうカイ!が開催されます。年の初めに家族で参加し、楽しく汗を流してみませんか。この大会は競争するのではなく、自分にあったスピードで走ったり歩いたりするタイム宣言レースです。村民みな様の多数の参加をお願いします。

※日時 1月15日、正午スタート(開会式は11時30分から)

※場所 川辺グラウンド

※参加料 50円(ただし、この参加料は1日レクリエーション保険の掛金とします。)

※申込〆切 1月9日

※申込先 中津江村教育委員会

なお、積雪等で競技不可能な場合は1月18日に変更します。くわしいことは教育委員会におたずねください。

ご寄付お礼

○中津江村社会福祉協議会へ香典返しとして金一封
宮本 豊様

○中津江村社会福祉協議会へお見舞返しとして金一封
奥平親雄様、山田サダ子様

○中津江村中央公民館へ香典返しとして姿見
鷹野喜美子様

以上のご寄付をそれぞれいただきました。紙上をかりて厚くお礼申し上げます。

通信制の 県立碩信高校 生徒募集

県下で唯一の通信制高等学校である碩信高校では、生涯教育を目指す人、高校卒業の資格を得ようとする人などを対象に生徒を募集しています。

※募集人員…400名

※入学資格…中学卒業、またはこれと同等以上の学力を有する者。なお、年齢、性別の制限はありません。

※学習方法…レポート提出と月2回の面接授業(日曜日)によって学習を進めます。

※学習期間…4年間。

※学費…全日制高校の1/3程度。

※出願期日…2月21日から4月7日まで。

※選考…提出書類でおこない、学力検査はありません。

※願書請求先…大分市上野丘2丁目10の2 大分県立碩信高等学校(電話0975-43-9339)

なお、願書請求は必ず郵便切手140円を同封のこと。

出初式が1月8日に行われます

中津江村消防団出初式が1月8日、午前9時30分から津江中学校グラウンドでおこなわれます。当日は、各分団の操法訓練、放水訓練、また、永年勤続者、功労者などの表彰がおこなわれます。消防団の志気高揚と防火思想普及のため、村民多数ご観覧くださいますようお願いいたします。

ありがとうございました 「歳末たすけあい運動」

「みんなそろって明るいお正月を」のスローガンで実施されました「歳末たすけあい運動」は、村民みな様のご協力により、総額131,400円の浄財をいただきました。

この浄財は民生委員会にはかり、重度の心身障害の方、寝たきりのお年寄、または1年以上入院し治療に専念している方々に、昨年末、それぞれ品物等を届けるとともに、一部を大分県共同募金会に送金しました。

ご協力くださいました村民みな様に厚くお礼申し上げます。

危い!!路面凍結

ドライバーのみなさん、スリップ事故に気をつけなければならない季節になりました。3月までは路面が凍結して危険な状態が続きますので、次のことに注意してください。

※凍結路面では、ほとんど車のコントロールがきかないので急発進、急停止は絶対にしない。

※日陰は凍結を予想して徐行する。

※車間距離を十分にとる。

※チェーン、スノータイヤ、スパイクタイヤを必ず使用する。

※シートベルトは必ず着用する

スリップ事故は、おもわぬ大きな交通事故になります。十分注意したいものです。

あけましておめでとうございませう。新しい年昭和五十六年になりました。

今年(酉年)は酉年です。酉年といえは飛翔する年です。今年こそ、わが中津江も大きくはばたい、住みよい豊かな村になりたいものです。

飛翔するにはいろいろな障害がありますが、それらを一つずつとり除いていかねばなりません。一人ではその障害を乗り越えることができません、二人三人と知恵(ちから)を出し合うと何なく乗り越えることができるかと思ひます。今年(酉年)だからといって、一気(いき)に飛び越えることは多少危険があるような気がしません。まず足もとからみつめていきたいものです。

※正月を迎えるといつも思ひます。「今年(酉年)はがんばります。」「来年の正月には「昨年(辛酉年)はよくがんばった。」「また今年もがんばるぞ」といいたいです。

※ともあれ、新年です。今年もよろしくお祈りします。

雑記